児童養護施設や里親家庭を巣立った若者のための

つながるアウトリーチ 報告書

概要

ケアリーバーのメンタル不調や、就労の困難さ、支援の受けづらさなどがコロナ前にも増して深刻な課題になっている中、「会いに行く支援」「困る前からの支援」を今より多くの若者へ届ける「つながるアウトリーチ」を2年間にわたり実施した。

2021年は、若者との繋がっている団体との連携強化のための広報や勉強会に注力し、2022年は団体や若者とのつながりをさらに拡げるための取り組みとして、定期的な食糧支援や企業×若者支援団体交流会などを実施した。さらに、一般市民の方にもサポートに加わっていただくために2021年には「ボランティア養成講座」2022年には「サポーター養成講座」を開催し、それぞれ登録者と共に若者と関わる機会を設けた。

その結果、2020年には50名ほどにしか満たなかったカモミール利用者が2022年1月末は170名と大幅に増加し、広島県全域のケアリーバーを支援することができる体制が構築されてきている。

実績

	今回の事業実施で達成される状態	指標	結果	考察
2021	1.若者が深刻な困窮に陥る前に当団体や社会資源につながることができる	①カモミール利用実人数	①102名（100%）	LINE相談カードを作成し、広報したことで支援機関からつながる対象者が増加した。また、食糧支援などを実施する中で、直接つながる対象者も増えつつある。
	1.若者が深刻な困窮に陥る前に当団体や社会資源につながることができる	②LINE利用回数	②795回（100%）	食料支援など対象者にとってメリットのある情報を定期的に配信する、新しくつながった対象者にはまめにLINEを送るなどすることで増加した。
	2.若者が継続的に自立生活に必要な支援を受けることができる	③アウトリーチ実施回数	③247回（100%）	お弁当配達や食料支援など会いに行く口実を作って定期的に会いに行き、交流を深めた。
	3.若者が困ったときに緊急支援を受けることができる	④緊急対応実施回数	④54回（67%）	定期的に連絡をとることで、「コロナ陽性になった」「妊娠した」など本当に困った時に連絡をしてもらえる関係を築くことができた。
	1.若者が深刻な困窮に陥る前に当団体や社会資源につながることができる	⑤支援機関との連携回数	⑤438回（100%）	LINE相談カードをもっての訪問や、勉強会の開催、対象者の課題に関など、あらゆるチャンネルで支援機関と関わる機会を作ることができた。
	2.若者が継続的に自立生活に必要な支援を受けることができる	⑥ボランティア登録者数	⑥8名（100%）	Vo養成講座の参加者に対して事業所の見学を提案したことで、アンケートには「ボランティア登録は検討中」と答えていた方が見学を経て「ボランティア登録」となった。
	1.若者が深刻な困窮に陥る前に当団体や社会資源につながることができる	⑦研修参加者数	⑦123名（100%） SV：4回実施 VO：3回実施延べ65名 県内勉強会：3回実施58名	ボランティア希望者だけでなく、アフターケアに関心のある方の参加も歓迎することでボランティア養成講座の参加者が増加した。また県内勉強会も当初予定していた1回の開催から継続的な勉強会が発足し期間内に3回開催することができた。
2022	1-①つながるアウトリーチ利用者数を増やす	1-①つながるアウトリーチ実人数	100%（170名（1月末））	昨年度からの広報や連携が実を結び、関係機関などから多くの対象者を紹介いただいた。また、施設を通しての食糧支援を入口としたつながりが大きい。
	1-②カモミールサポーターを活用する	1-②カモミールサポーター登録者数	100%（11名）	サポーター養成講座を開催し、16名の応募があり、11名が登録に至った。
	1-③企業×若者支援団体交流会を開催する	1-③企業×若者支援団体交流会参加団体数	55%（11団体）	企業5社、若者支援団体6団体の参加があった。
	2-①つながるアウトリーチ利用者と継続して関わる	2-①つながるアウトリーチ利用延べ回数	100%（472回（1月末））	毎月の食糧支援を継続することによって関係の構築につながった。
	2-②支援機関と連携して対応する	2-②支援機関連携延べ回数	100%（516回（1月末））	利用者が増加することで、支援機関との連携も増加した。
	2-③遠方地（広島県東部以外）の支援回数を増やす	2-③遠方地（広島県東部以外）の支援回数	100%（467回（1月末））	2年前までは、遠方地の対象者とつながるツールがなかったが食糧を通して繋がることができ、結果的に食糧支援以外の支援も提供することができている。
	2-④サポーターとの連携モデルを作る	2-④サポーターとの連携モデルを作る	○	まずはスタッフと一緒に食料支援など同行していただき、関係を繋いでいっている段階。
	2-⑤緊急支援を実施する	2-⑤緊急支援を実施する	○	コロナ陽性者の対応など実施した。

アフターケア事業所カモミール

〒720-0066　広島県福山市三之丸町6-5 三之丸ビル3F

TEL 084-959-3278　info@hiroshima-chamomile.jp

舞い上がれ 社会を変える みんなの力

休眠預金を活用した事業です

活動

アウトリーチ・食糧支援の実施

毎月1回お弁当配布と食糧支援を実施。
遠方の対象者には郵送で届けた。

緊急対応の実施

濃厚接触者となった利用者への食糧支援や病院等の情報提供
金銭トラブル、住居喪失など、さまざまな緊急対応を行った。

ボランティア活動

8名登録。食糧支援の準備しながら若者と関わった。

関係機関への広報・連携

主に活動前期に近隣の児童福祉施設や行政機関、民間支援団体などを直接訪問し、LINE相談カードやアウトリーチについて案内した。

2021年

ボランティアの養成研修

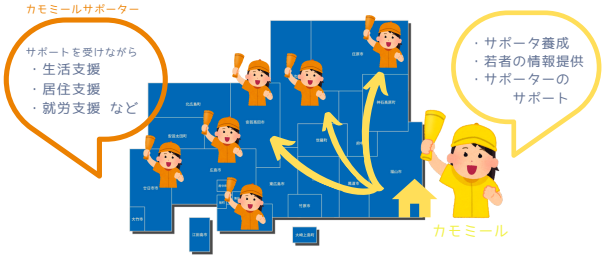
延べ68名が参加、8名がボランティアとして登録した。
また、登録には至らなかった方も寄付やSNS拡散などの形で
協力していただける関係を作ることができた。

県内関係機関を対象とした 連携体制づくりの研修

9月の勉強会を発端に、継続的にアフターケアにかかわる団体が
集うアフターケア勉強会を開催することとなった。

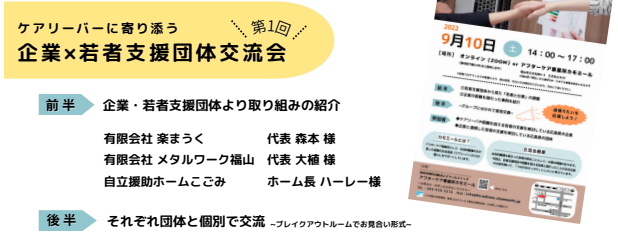
2022年

カモミールサポーター養成



14名が参加、11名がサポーターとして登録した。
スタッフが食糧支援やアウトリーチをする際に同行し
関係づくりをおこなっている段階。

企業×若者支援団体交流会



9月の勉強会を発端に、継続的にアフターケアにかかわる団体が
集うアフターケア勉強会を開催することとなった。